



↑和牛全共に出品される肉牛3頭と中山正美さん

↓和牛全共へ出発する直前の中山高司さんと出品牛



『和牛五輪』 に本町から4頭出品

10月11日から14日まで鳥取県で開かれる第9回全国和牛能力共進会（通称Ⅱ和牛全共）に、本町から肉牛4頭が県代表として出品されます。

県代表の4頭は、7月に霧島市の始良中央家畜市場で行われた鹿児島県最終予選会で選出されました。予選会では、生後月齢などで分けられた8部門で生育や体形、仕上げ具合などが競われ、7〜9区に中山正美さん（犬鹿倉）の所有牛3頭が、9区に有限会社うしの中山（中山高司代表取締役Ⅱ母良木）の所有牛1頭が選ばれました。

県代表の肉牛8頭中、4頭が本町からの出品で、本町生産者の技術力の高さが証明されました。

和牛全共に挑む中山正美さんは「肉質にこだわって、他の牛と同じように育ててきました。これからも結果の出せる生産をしていきたい」。中山高司さんは「牛の命に感謝しながら、牛の持っている素質を最大限に生かせる餌のやり方をしています。皆さんにおいしい肉を食べてほしい」と仕事にかける思いを話されました。

- 出品牛は次のとおりです。
- ◆7区【総合評価群】肉牛群 百合金（中山正美）
 - ◆8区【若雄後代検定牛群】金星（中山正美）
 - ◆9区【去勢肥育牛】吉宗（中山正美）
 - 秋太郎（うしの中山）

「全国和牛能力共進会」

全国の優秀な和牛（黒毛和種牛）が5年に1度、一堂に会してその優劣を競う全国大会で、「和牛のオリンピック」とも称される大会です。

雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」と肉質を競う「肉牛の部」があり、各道府県から選抜された数百頭の和牛が、それぞれの部で頂点を目指します。

審査結果が各県の和牛のブランド化に大きく影響するだけに、和牛関係者にとって、まさに威信をかけた非常に重要な大会です。

昭和41年に第1回の「和牛全共」が開催されて以来、過去に8回開催されています。